

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (5) 地域活性化を見込む融資対応について
農林中央金庫 福島支店（福島県）

新規	継続
○	(年 月)

1 動機(経緯)	A株式会社はこれまで役員が所有していた旧式で小規模対応の乾燥機を使用していましたが、今般 50 h a 規模対応の最新鋭の乾燥調整施設を導入することにより、電気代の節約のほか乾燥ムラの減少による米の品質向上、作業時間の短縮による農作業の効率化を目指すものです。
2 概要	当社は集落営農組合を 2015 年 10 月に法人化しました。 福島県安達郡大玉村で水稻をメインとして栽培し、そば、野菜の栽培、および水稻の作業受託を行っています。 当社の水稻生産は、安達郡大玉村大山地区で作付しており、大山地区は大玉村水稻全体 895 h a の約半分の 440 h a 占めています。高齢化が進展する中で農業の担い手不足を背景とした農作業受託等の需要拡大が見込まれ、行政および地域において期待されている農業法人です。
3 成果(効果)	当社の事業計画は、大山地区における毎年 5 h a 減少する部分について、当社が受け皿となり、小作または作業受託することにより規模拡大を図っていくもので、当社の存在意義はこの大山地区にとって非常に大きなものとなっています。 農林中央金庫 福島支店では、JAふくしま未来等と連携し、当社が新規取得する水稻の乾燥調製施設の建設資金として融資対応しました。
4 今後の予定	当社は農産物直売所および個別販売する自社商品の開発等も手掛け、引き続き収益力の高い高品質の特別栽培米を主力商品として、自社ブランド化に向けて積極的に米の販売に取り組んでいく方針です。